

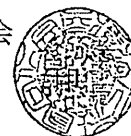
平成 27 年 2 月 4 日

函館市長 様

函館市住吉町 2 番 13 号

医療法人社団 向仁会

理事長 阿部 智哉



函館市地域包括支援センターよろこびの移転について

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より函館市地域包括支援センターよろこびの運営についてご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて平成 18 年より港町 2 丁目 2 番 25 号の賃貸物件において運営をしておりましたが、この度平成 27 年 7 月 1 日（予定）より桔梗 1 丁目 14 番 1 号に当法人の中核的機能や介護療養型老人保健施設の移転、クリニックの新設に伴い、同施設内に移転する運びとなります。複合的な施設機能には、多目的コミュニティの要素を備え、人口の動向や交通の利便性も考慮されており、今後の日常生活圏域の見直しや地域包括支援センターの再編という動向を踏まえ柔軟な対応が出来ると思われまます。

移転先の桔梗地区周辺は人口が増加傾向で生産年齢人口の割合が市内で最も高く、仕事等で日中、地域を離れる人が多い事や住宅開発などで人口流入が多いのが特徴です。平成 26 年度は、にこやか教室や出前講座・認知症サポーター養成講座・地域ケア会議等の開催や町会主催の懇談会や防災訓練等にも参加するなど連携をさせて頂いております。

港町周辺につきましては平成 18 年より、約 10 年近く運営して近隣住人や各町会との交流も盛んになり、地域ケア会議・健康作り教室・家族介護教室等の多岐にわたり情報提供や連携を保って参りました。現在の港町周辺町会や民生委員との連携も取れており、移転後においても地域活動や豊富な医療介護関連資源のお力を借り、構築したネットワークを保ちながら、地域課題や個別課題における協働をこれからも推進していきます。

現在、当センターでは事務所が狭く会議等を行う場所の提供が困難でしたが、移転先には多目的会議室も備えており、新しいネットワーク構築を取り込みながら広く地域に貢献出来る体制になります。又、介護・医療協働による地域包括ケアシステム構築を推進して参りたいと考えております。

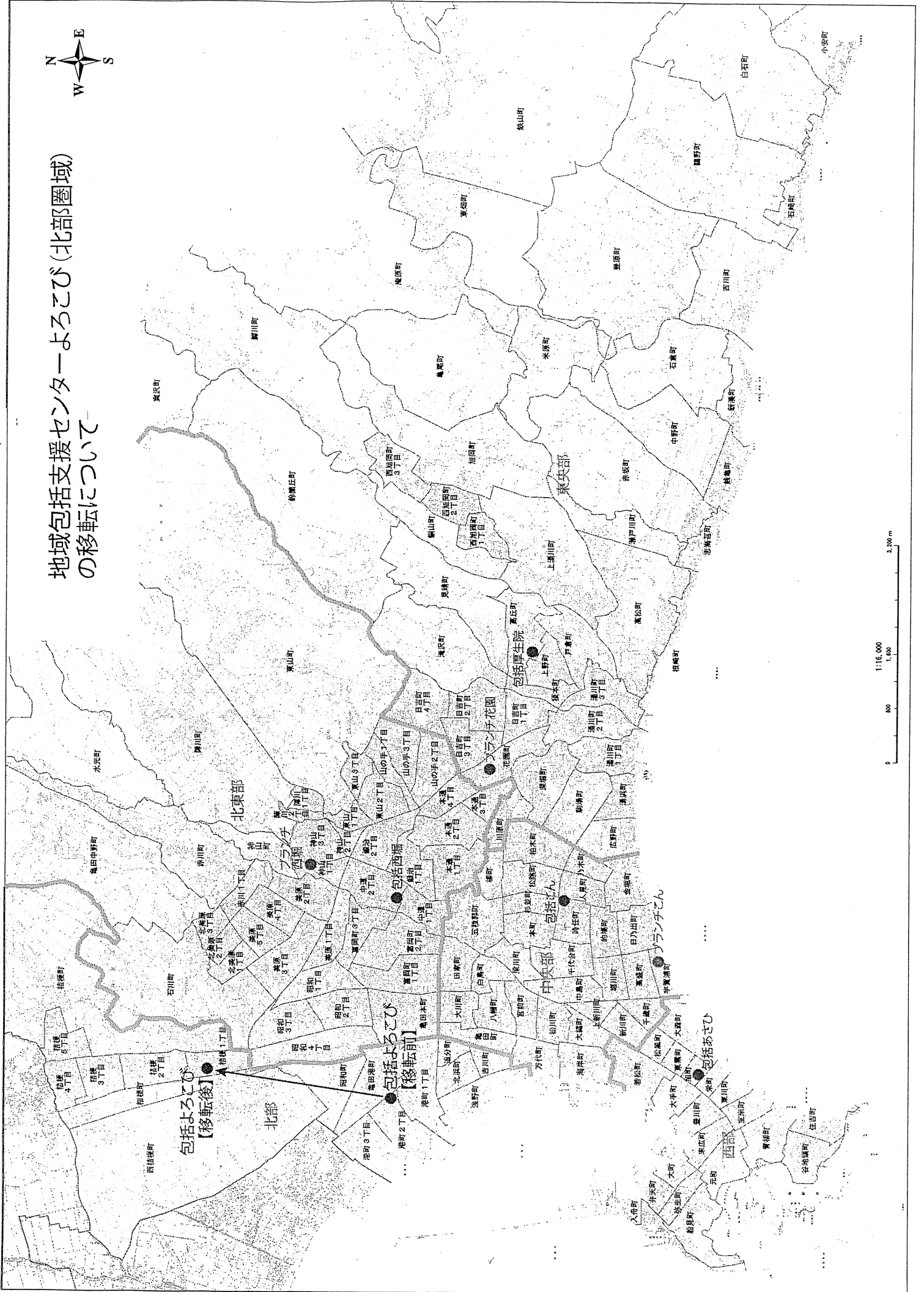
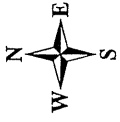
尚、地域住民や関係機関への周知につきましては、事前にご相談している関係機関もありますが、市に承諾を得た後、早急に対応する予定で有ります。

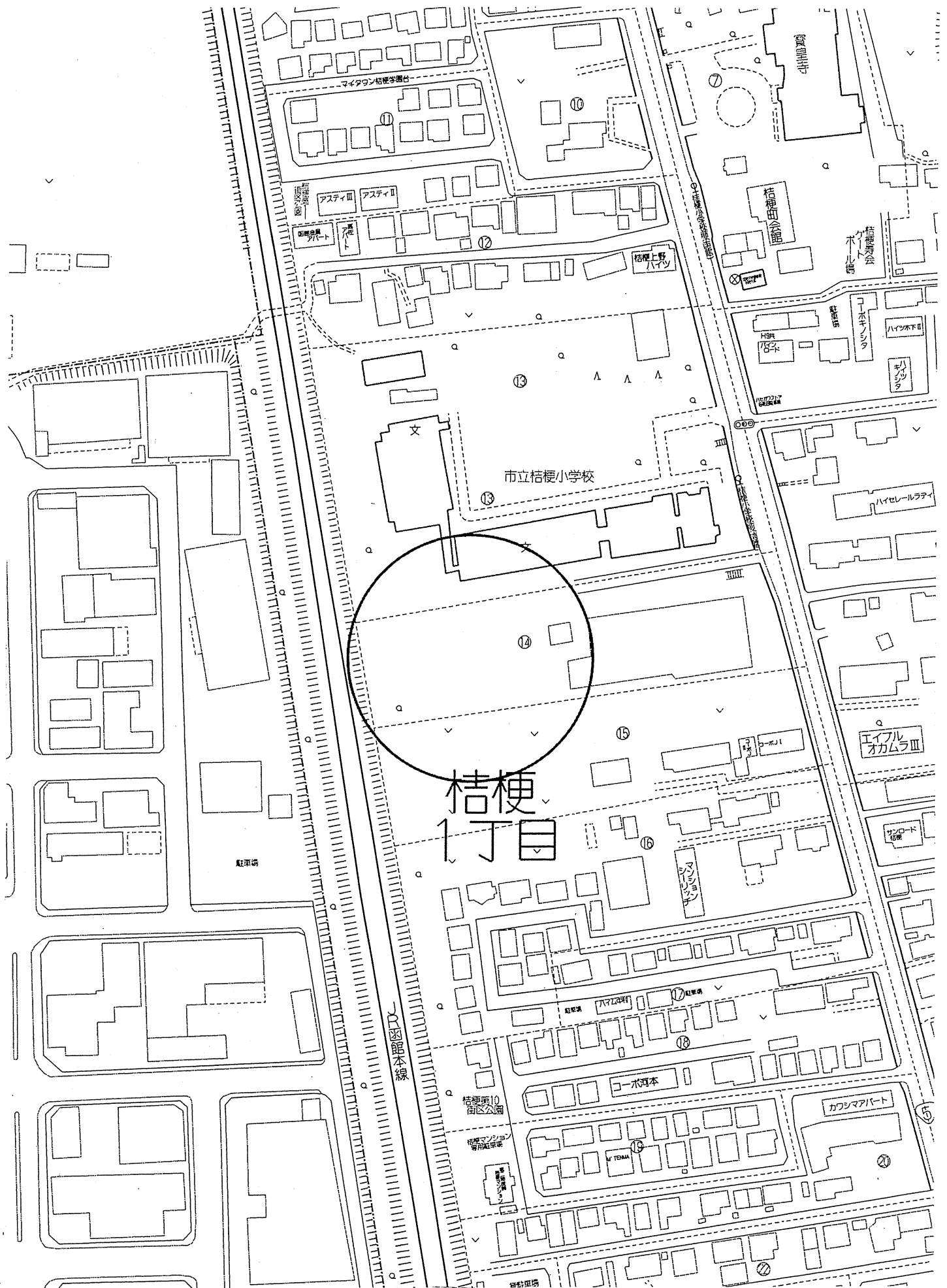
以上、ご報告致します。

今後ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

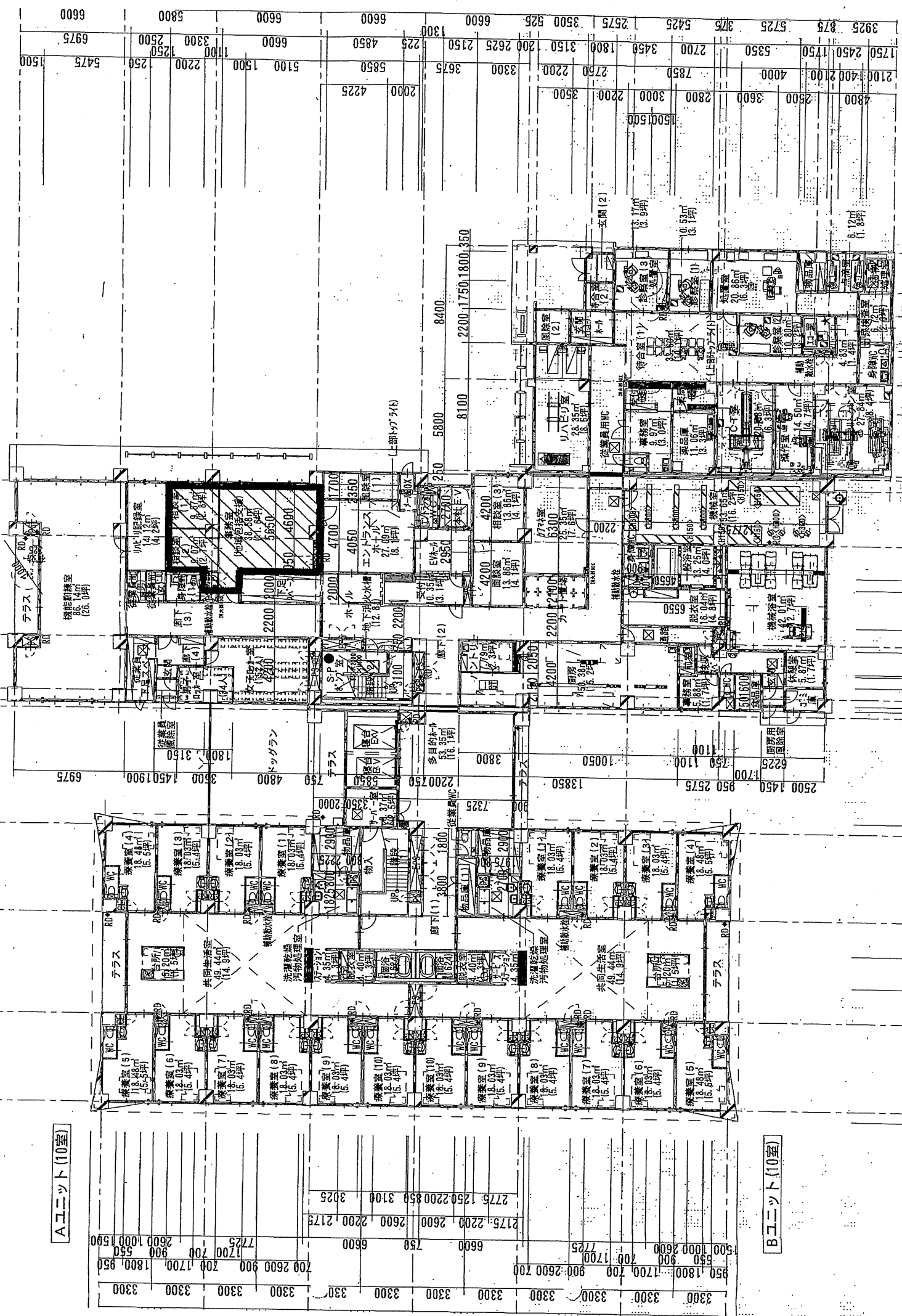
謹白

地域包括支援センターによるこび(北部圏域)の移転について





桔梗
1丁目



Aユニット(10室)

Bユニット(10室)